

鎖上領域を含む胸壁・乳房照射症例に対する深吸気息止め照射 (Deep inspiration breath-hold; DIBH)における治療時間の検討

◆ 研究の対象となる方

2025年4月～2026年3月に乳癌の術後放射線治療として乳房または胸壁＋鎖骨上への照射を受けられた方

◆ 目的・方法

乳がん術後の放射線治療において、「深く息を吸って止めた状態で照射する方法 (Deep Inspiration Breath Hold: DIBH)」は、心臓への放射線被ばくを低減できることがこれまでの研究で示されています。当院においても、左側乳がんに対する乳房温存術後の放射線治療において、本手法を導入しています。

一方で、DIBH照射では治療中に複数回の息止めが必要となるため、治療時間が延長する可能性があることが報告されています。このため当院では、鎖骨上リンパ節領域を含めて照射を行う必要がある症例については、治療効率の低下(1日に治療可能な患者数の減少)を懸念し、現時点では本手法を導入していません。

本研究では、これらの症例を対象として、DIBH照射における治療時間延長の要因を明らかにするとともに、それらの要因に対する改善策を検討・導入した上で、実際の治療時間を評価します。さらに、その治療時間が日常診療において許容可能な範囲であるかを検討することを目的としています。

◆ 研究に使用する情報

本研究では、新たに血液や組織などの生体試料を採取することはありません。日常診療の中で既に記録されている情報のみを用いて研究を行います。

具体的には、以下の情報を使用します。

- ① 患者さんの基本的な情報(年齢、性別、診断名、病気の進行度(病期)など)
 - ② 放射線治療に関する情報(照射した部位、照射方法、放射線の量や回数、使用した放射線のエネルギーなど)
 - ③ 治療にかかった時間に関する情報(入室から退室までの各作業に要した時間)
 - ④ DIBH(深吸気息止め)実施時の状況に関する情報(毎回の治療時に要した位置調整や座標のデータや、DIBHが実施可能であったかどうか、その理由など)
 - ⑤ その他、本研究の目的を達成するために必要と研究責任者が判断した診療情報
- これらの情報はすべて、通常の診療の過程で得られたものであり、研究のために新たな検査や調査をお願いするといった負担が生じることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはあ

りません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 放射線科 大島 健史 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	---

以上